

メインITソリューションパートナーを目指して



第25期 中間事業報告書 2012.4.1.~2012.9.30

# *CRESCO REPORT* **2012**

証券コード：4674 株式会社クレスコ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第25期中間期(2012年4月1日～2012年9月30日)の事業報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

当中間期の経営環境は、東日本大震災の影響で大きく落ち込んだ前年度の反動や効率化投資による内需に牽引され、大企業を中心に製造業・非製造業とも景況感が上昇に転じ、IT投資も引き続き改善傾向でございました。

経済見通しにつきましては、世界経済の減速、日中韓の領土問題など懸念事項も多く、9月の金融経済月報で、景気は「持ち直しの動きが一般」しており、先行きも「当面横ばい圏内の動きにとどまる」との見方を示しております。しかしながら、足元の営業状況から鑑み、設備投資計画は堅調に推移すると考えております。

当社企業グループは、当年度を次世代クレスコの「**推進元年**」として位置づけ、M&A、海外拠点の設立、技術研究所の立ち上げ等に取り組んでまいりました。

今後も、企業のメインITソリューションパートナーとして、お客様満足度No.1を目指し、みなさまからのご信頼とご期待にお応えしてまいります。なお一層のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長 兼 社長  
岩崎 俊雄

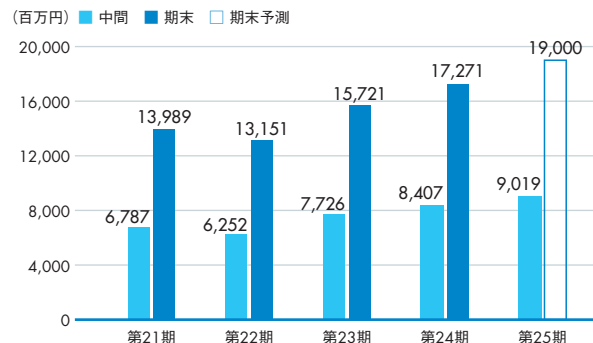
株主のみなさまへ

当中間期は、主力とする受託開発事業やERP関連事業の受注が伸長し、増収増益となりました。各社の業況は、子会社の「クレスコ・イー・ソリューション」や「アイオス」で要員稼働率と営業利益率が堅調に推移した他、新たに子会社化した「クレスコ北陸」も当初計画を上回り、連結業績に貢献いたしました。一方、近距離無線分野やインターネットコミュニケーション分野を担う子会社は、新規事業の立ち上げの遅延や受注の先送り等が発生し、計画を下回りました。

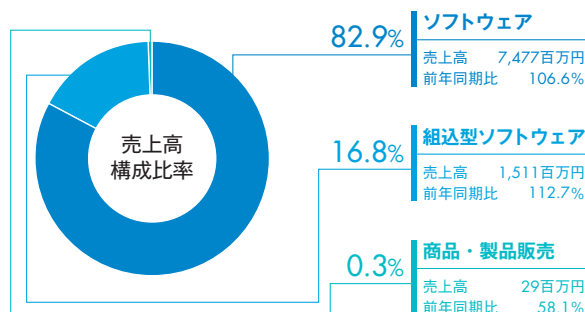
この結果、売上高90億19百万円(前年同期84億7百万円)、営業利益5億21百万円(前年同期4億59百万円)、経常利益5億79百万円(前年同期5億20百万円)、中間純利益3億35百万円(前年同期2億28百万円)と増収増益となりました。

売上高

9,019百万円

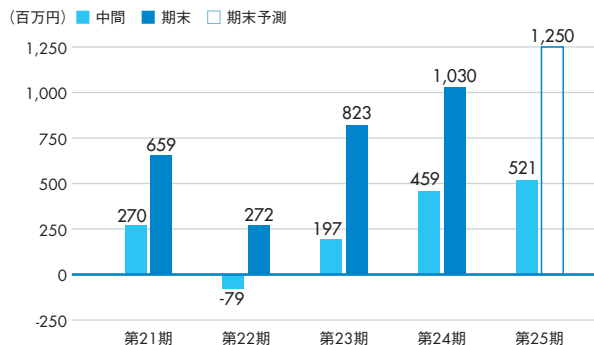


セグメント別売上高・構成比率



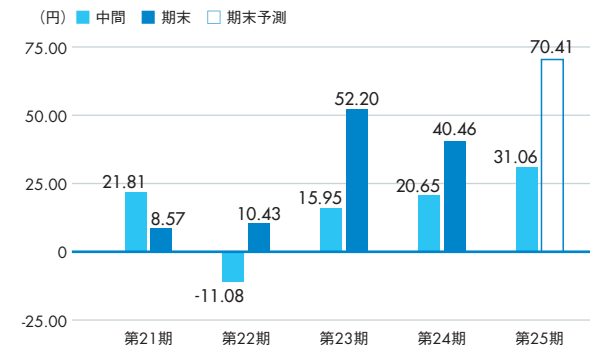
## 営業利益

**521**百万円



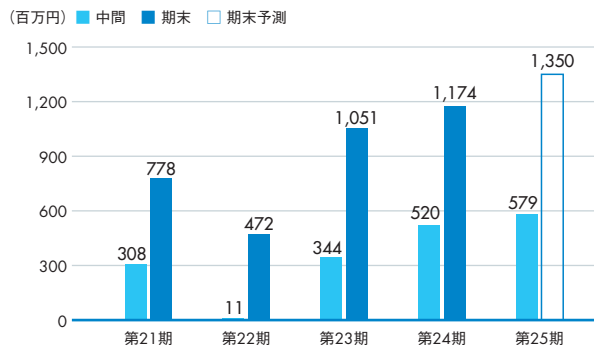
## 1株当たり純利益

**31.06**円



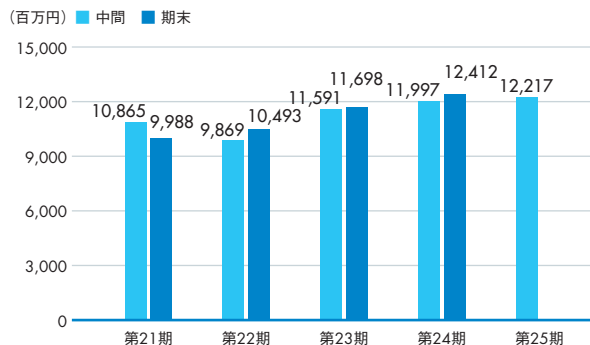
## 経常利益

**579**百万円



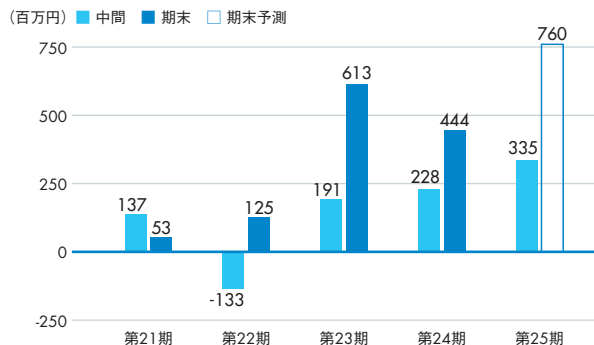
## 総資産

**12,217**百万円



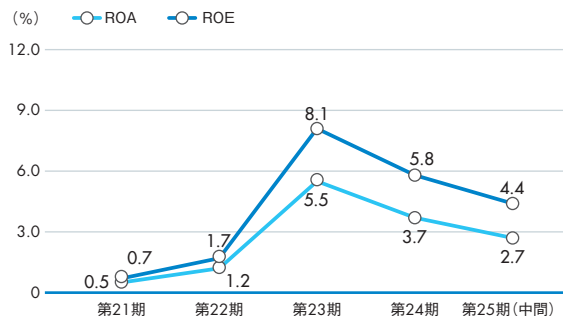
## 純利益

**335**百万円



## ROA & ROE

ROA **2.7%**  
ROE **4.4%**



# 次世代クレスコの創生 推進元年

第25期中間期は「次世代クレスコの創生」の一環として、さまざまな取り組みを実施いたしました。

- サービス体制を強化するために、「クラウドビジネスセンター」「コンサルティングセンター」を新設し、「スマートフォンビジネスセンター」を「ビジネスソリューション事業部」に移設いたしました。
- 先進技術のビジネス化と品質マネジメントの強化を図るために、「技術研究所」「品質管理室」を新設いたしました。
- 営業拠点の広域化とグループ経営の強化を図るために、「ソラン北陸株式会社(現:クレスコ北陸株式会社)」を2012年4月1日に完全子会社化いたしました。
- アジア地区における商圏拡大を図るために、海外子会社「科礼斯軟件(上海)有限公司」を2012年6月28日に設立いたしました。
- 子会社「株式会社クレスコ・コミュニケーションズ」の事業再構築のために、マーケティングソリューション事業(沖縄センター)を譲渡いたしました。

## 企業でのスマホ導入を後押しする 「SecureDive for Smart Devices」

昨今、続々と企業に導入されておりますスマートデバイス（スマートフォンやタブレットPC等）を安心・安全に利用するには、企業側には複数の業務システムへのアクセス管理やユーザ管理、ユーザ側にはID／パスワードの管理などの運用上の課題が発生いたします。

当サービスは、スマートデバイスや業務システム毎の認証情報を堅固な認証方法で統合的に管理することで、企業側の管理負担軽減とセキュアな環境を実現いたします。また、ユーザログインのインターフェースに生体認証（画像再認証本人認証）を用いており、パスワードの暗記やID／パスワード入力の煩わしさからユーザを解放いたします。



## 事業と効率を見据えた組織変更

今後の事業展開および事業の効率性向上を見据え、2012年10月1日に組織を変更いたしました。

### ■「サービスビジネス事業部」の廃止

サービスビジネス事業を「ビジネスソリューション事業本部」に集約し、「サービスビジネス事業部」を廃止いたしました。同事業部で推進しておりましたセキュリティ関連ビジネスは、同事業本部の基盤システム開発部門で引き続き事業展開してまいります。

### ■「海外プロジェクト室」の移設

2012年4月1日付で「エンベデッドソリューション事業部」に新設した「海外プロジェクト室」を、同事業部から本社部門へ移設いたしました。今後は、海外での事業展開を組込型ソフトウェア開発事業に限定せず、全事業領域を対象に推進してまいります。

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

	2011 2012年3月31日現在	2012 2012年9月30日現在
(資産の部)		
<b>1</b> 流動資産	7,078	6,975
<b>2</b> 固定資産	5,334	5,242
資産合計	12,412	12,217
(負債の部)		
<b>3</b> 流動負債	3,103	2,909
<b>4</b> 固定負債	1,645	1,609
負債合計	4,749	4,519
(純資産の部)		
株主資本	7,906	8,112
その他の包括利益累計額	△ 265	△ 436
少数株主持分	22	22
<b>5</b> 純資産合計	7,663	7,698
負債純資産合計	12,412	12,217

### 1 流動資産

**1億3百万円**  
(前期比)

仕掛品が1億5百万円、受取手形及び売掛金が96百万円増加したものの、現金および預金が3億13百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ、1億3百万円減少し、69億75百万円となりました。

### 2 固定資産

**92百万円**  
(前期比)

繰延税金資産が1億48百万円増加したものの、投資有価証券が1億58百万円、長期預金が1億円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ、92百万円減少し、52億42百万円となりました。

### 3 流動負債

**1億94百万円**  
(前期比)

買掛金が82百万円、短期借入金が40百万円増加したものの、未払法人税等が2億26百万円、1年内返済予定の長期借入金が80百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ、1億94百万円減少し、29億9百万円となりました。

### 4 固定負債

**35百万円**  
(前期比)

退職給付引当金が50百万円増加したものの、長期借入金が82百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ、35百万円減少し、16億9百万円となりました。

### 5 純資産合計

**34百万円**  
(前期比)

その他有価証券評価差額金のマイナスが1億71百万円増加したものの、利益剰余金が2億5百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ、34百万円増加し、76億98百万円となりました。

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

	2011	2012
	2011年4月 1日から 2011年9月30日まで	2012年4月 1日から 2012年9月30日まで
<b>6</b> 売上高	8,407	9,019
売上原価	7,097	7,596
売上総利益	1,309	1,423
販売費および一般管理費	850	901
営業利益	459	521
営業外収益	74	65
営業外費用	13	6
経常利益	520	579
特別利益	17	36
特別損失	92	78
税金等調整前中間純利益	445	538
法人税、住民税および事業税	228	213
法人税等調整額	△ 11	△ 10
少数株主損益調整前中間純利益	228	334
少数株主利益	△ 0	△ 0
中間純利益	228	335

### 6 売上高

#### 1. ソフトウェア開発事業

売上高は74億77百万円(前年同期比6.6%増)となり、セグメント利益(営業利益)は7億4百万円(前年同期比10.9%増)となりました。業種別の売上高を比較しますと、主力の金融分野は前年同期を40百万円下回り、公共サービス分野は前年同期を1億40百万円上回り、流通・その他の分野は「クレスコ北陸」の子会社化等により前年同期を3億63百万円上回りました。

#### 2. 組込型ソフトウェア開発事業

売上高は15億11百万円(前年同期比12.7%増)となり、セグメント利益(営業利益)は1億95百万円(前年同期比18.7%増)となりました。製品別の売上高を比較しますと、通信システム分野は通信端末の開発案件が増加し、前年同期を1億20百万円上回りました。カーエレクトロニクス分野は車載関連の案件が減少し、前年同期を1億96百万円下回りました。情報家電等、その他組込型分野はカメラ関連の開発案件が増加し、前年同期を2億45百万円上回りました。

#### 3. 商品・製品販売

売上高は29百万円(前年同期比41.9%減)となり、セグメント損失(営業損失)は、18百万円(前年同期セグメント損失20百万円)となりました。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨)

	2011	2012
	2011年4月 1日から 2011年9月30日まで	2012年4月 1日から 2012年9月30日まで
<b>7</b> 営業活動によるキャッシュ・フロー	502	44
<b>8</b> 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 163	△ 90
<b>9</b> 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 265	△ 278
現金および現金同等物の増減額	68	△ 324
現金および現金同等物の期首残高	2,446	2,992
現金および現金同等物の中間期末残高	2,514	2,667

### 7 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益が5億38百万円、仕入債務の増加による収入が74百万円あったものの、法人税等の支払額が4億46百万円、たな卸資産の増加による支出が1億9百万円あったことにより、44百万円の収入(前年同期5億2百万円の収入)となりました。

### 8 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の償還による収入が2億88百万円、投資有価証券の売却による収入が1億28百万円、投資有価証券の取得による支出が5億53百万円あったことにより、90百万円の支出(前年同期1億63百万円の支出)となりました。

### 9 財務活動によるキャッシュ・フロー

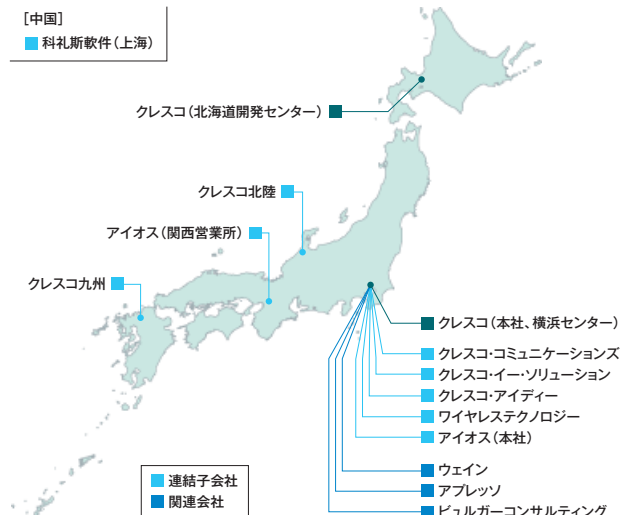
短期借入による収入が40百万円、長期借入金の返済による支出が1億62百万円、配当金の支払額が1億29百万円、短期借入金の返済による支出が20百万円あったことにより、2億78百万円の支出(前年同期2億65百万円の支出)となりました。



**ホームページのご案内**

最新のIR情報や  
財務データ、決算関連資料を  
掲載しております。  
ぜひ、ご利用ください。

<http://www.cresco.co.jp/>



## ■ 連結子会社

## クレスコ・イー・ソリューション株式会社



設立	1998年9月
資本金	2億円
事業内容	ERPシステムの導入、コンサルティング、アドオンプログラム開発

## ワイヤレステクノロジー株式会社



設立	2005年10月
資本金	5,000万円
事業内容	近距離無線通信ソリューションの開発および輸入販売

## 株式会社クレスコ・コミュニケーションズ



設立	2006年4月
資本金	5,000万円
事業内容	企業向けソーシャルネットワーキングサイト、ブログを核としたインターネット・コミュニケーションサービス事業

## クレスコ・アイディー株式会社



設立	2011年4月
資本金	1億円
事業内容	近距離無線通信を用いた情報通信機器設備に関する設計、開発および製造、販売業務

## 株式会社アイオス



設立	1989年6月
資本金	3億1,336万円
事業内容	コンピュータ・ソフトウェアの開発、販売および情報処理サービス業務

## クレスコ九州株式会社



設立	2005年9月
資本金	5,000万円
事業内容	ソフトウェアの設計・開発およびコンサルティング

## クレスコ北陸株式会社



設立	2003年4月
資本金	5,000万円
事業内容	コンピュータシステムのコンサルティング・設計開発

## 科礼斯軟件(上海)有限公司



設立	2012年6月
資本金	7,000万円
事業内容	ソフトウェア開発および関連付帯サービスの提供

## ■ 関連会社

## 株式会社ウェイン



設立	1999年4月
資本金	2,500万円
事業内容	情報システムの設計/製造、ソフトウェア解析・コンサルテーション・移植・日本語化、ソフトウェア開発の中国への委託紹介

## 株式会社アプレッソ



設立	2000年4月
資本金	2億6,700万円
事業内容	データ連携パッケージ製品「DataSpiderシリーズ」の開発、販売、サポート

## ビュルガーコンサルティング株式会社



設立	2004年10月
資本金	9,996万円
事業内容	ITコンサルティング、ソリューションサービス



会社の概要

(2012年10月1日現在)

商号	株式会社クレスコ
設立	1988年4月
資本金	2,514百万円
従業員数	920名
本社所在地	〒108-6026 東京都港区港南2丁目15番1号 品川インターシティA棟25階～27階 03-5769-8011
事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 横浜センター 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目3番19号 新横浜ミネタビル5階 045-474-0982</li> <li>■ 北海道開発センター 〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌北三条ビル11階 011-200-5550</li> </ul>
事業内容	情報処理システムに関する <ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンサルティングおよびソリューションサービス業務</li> <li>■ 設計、開発業務</li> <li>■ 運用管理、保守業務</li> <li>■ 調査、分析、評価および技術支援業務</li> </ul>

役員

(2012年10月1日現在)

代表取締役会長 兼 社長	岩崎 俊雄
取締役副社長	水谷 浩二
専務取締役	熊澤 修一
常務取締役	丹羽 蔵王
常務取締役	根元 浩幸
取締役	山田 則夫
取締役	木村 孝之
取締役	日高 健治
取締役	高橋 一次
取締役	谷口 義恵
常勤監査役	波多腰 茂
監査役	臼井 義眞
監査役	井手 正介
監査役	戸田 秀明

(注) 監査役臼井義眞、監査役井手正介および監査役戸田秀明は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

配当方針

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としております。配当に関しましては、原則当社の経常利益をもとに特別損失を零(ゼロ)とした場合に算出される当期純利益の40%相当を目途に、継続的に実現することを目指してまいります。

株式の状況

(2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	34,000,000株
発行済株式の総数	10,794,672株
	(自己株式1,205,328株を除く)
株主数	3,227名

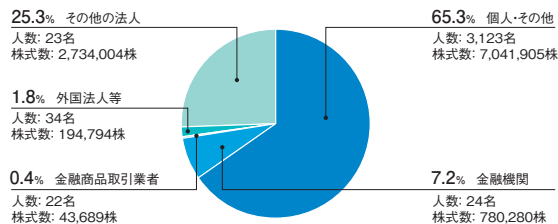
大株主

(2012年9月30日現在)

株主名	持株数(百株)	議決権比率(%)
有限会社イワサキコーポレーション	27,054	25.20
浦崎 雅博	14,818	13.80
岩崎 俊雄	10,290	9.58
クレスコ従業員持株会	5,539	5.16
佐藤 和弘	5,048	4.70
田島 裕之	4,448	4.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,412	1.31
波多腰 茂	1,243	1.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	804	0.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	733	0.68

所有者別株式分布状況(自社保有分を除く)

(2012年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	日本経済新聞社に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承っております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

